

# Departure Oral Communication I Revised Edition

[ 5 0 大修館 | オ I 0 2 6 ]

## 検討の観点と内容特色

検討の 観点	内容特色
( 1 ) 内 容	<p><b>【学習指導要領との関連】</b> * 学習指導要領に示された「オーラル・コミュニケーション I」の目標，日常生活の身近な話題について，英語を聞いたり話したりして，情報や考えなどを理解し，伝える基礎的な能力を養うこと，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること，が無理なく達成できる内容になっている。</p> <p><b>【教材の特色】</b> * 教材には，学校生活・買い物・道案内など，生徒にとって身近な話題が豊富に取り上げられていることで，生徒の学習意欲が高まり，自主的かつ積極的なコミュニケーション活動が期待できる。 * 教材が扱っている話題は，日本国内にとどまることなく，広く世界にも及び，多彩な言語文化への視野が広がる充実した内容になっている。 * 英語が国際社会での共通語になっていることを考慮し，標準英語以外の様々な英語にも十分な配慮がなされている。 * コラムとして，主にリスニング力を養成するための実践的活動が随所に用意されている。</p> <p><b>【難易度】</b> * 中学校で身につけた「実践的コミュニケーション能力」を基盤にした基礎的な活動から，高校生にとって相応しい場面での言語活動まで，様々な場面でのコミュニケーション活動が，平明かつ自然な英語で行えるように工夫されていて，難易度も適当である。</p> <p><b>【内容の取り扱い】</b> * 文法を学習するコーナーが各課に設けられるなど，「聞く」「話す」だけでなく，「読む」「書く」活動にも十分は配慮がなされ，総合的な英語力を育成することができる。 * 個々の教材を活用することで，「聞く」「話す」はもちろんのこと，「読む」「書く」能力も合わせて，4技能がバランスよく養えるようになっている。 * 学習した内容をもとに生徒自身の考えを発表させる活動が多く盛り込まれ，生徒の実践的コミュニケーション能力の養成が期待できる。</p>

<p>( 2 ) 構 成 ・ 分 量</p>	<p><b>【全体】</b> *生徒と同じ年齢の高校生を主人公にした1つの物語が、全16課に分けて描かれていて、常に身近な話題を通して英語の学習ができるように構成されている。 *生徒の学力の伸長に応じ、適宜授業を膨らませて展開できるように、コラムなども充実している。 *全体の分量は、1年間の授業数などを考慮すると適当である。</p> <p><b>【本課】</b> *各課は、それぞれ&lt;生徒の関心を引き出す導入&gt;&lt;聞いて話す活動&gt;&lt;モデル対話の提示&gt;&lt;4技能に配慮した総合的な言語活動&gt;の4つから構成され、それぞれに独立性が保たれている。</p>
<p>( 3 ) 表 記 ・ 表 現 及 び 使 用 上 の 便 宜</p>	<p><b>【英語】</b> *英語は現代の標準的なアメリカ英語を基調とし、個々の表記・表現、また発音についても、この方針にしたがって適切に表記されている。</p> <p><b>【紙面】</b> *本文や脚注のほか、臨場感のある写真・イラストなどが適切にかつ見やすくレイアウトされ、効果的な学習が期待できる(全ページフルカラー)。</p> <p><b>【使用上の便宜】</b> *幅広い言語活動ができるように、常に参照できる「語彙リスト」が巻末におかれている。 *教室内で、また日常生活でよく使われる定形表現が「見返し」にまとめられている。 *判型は扱いやすいB5判、ページ数は96ページで、1年間の授業数などを考慮すると適当である。</p>
<p>( 4 ) そ の 他</p>	<p><b>【充実した補助教材】</b> *学習の効率を高めるための補助教材が充実している。</p> <p><b>【環境への配慮】</b> *再生紙を使用するだけでなく、化学物質過敏症を誘発しない大豆インクで印刷するなど、人と環境への配慮が十分になされている。</p>